

注意 御豊瀬地区には、イベント用の駐車場がございませんので、
 でお越しの方は、**競馬場第2駐車場**をご利用ください!!

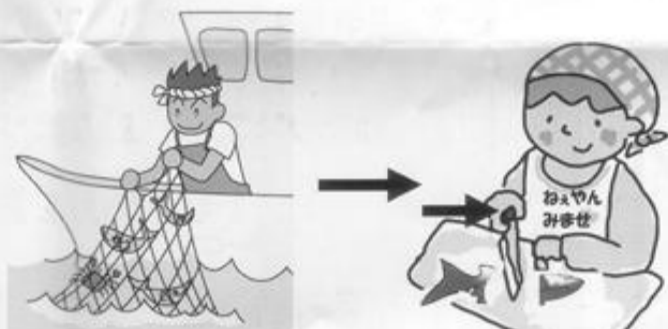
主催:たるぼあや^{みま}って御豊瀬^せん会 **協賛:**高知県漁業協同組合
後援:高知市・高知市教育委員会・高知県・NHK高知放送局・KUTVテレビ高知
 (株)高知新聞社・RKC高知放送・KSSさんさんテレビ・エフエム高知
 高知ケーブルテレビ



ねえやん御^み疊^ま瀬^せ祭り

10月25日(日)12:00~15:00(雨天決行)

場所:高知県漁協御疊瀬支所(地図:裏面)



ねえやん御疊瀬が、おとうちゃんの獲った魚を美味しゅうこしらえて待ちゆうき、みんなあ連れだつて、御疊瀬にきてよ!!

祭りが終わっても、岡林の熱〜いコンサートがあるき、聴いてってヨ!!

★当日出品メニュー(予定)

あんこう鍋(無料で〜す!)
てんぷら
沖ウルメ寿司
沖ウルメフライ
メヒカリ唐揚げ
など

干物も
買えるぞネ!!

あんまりよけ作れんき、無いこともあるきね!

↑ 海が荒れて漁がなかったら、出来んもんもあるき。m(_ _)m

★「きれい」から 龍馬にウインク してみんかえ?



遊覧船「きれい」

1人500円

「きれい」に乗って
わしに逢いに来んかよ!?
桂浜で待ちゆうぜよ!!

御疊瀬発
ぜよ。

★お魚オークション!!(模擬競り市)

13:00~13:30

漁師が獲った朝どれの魚の
競り体験ができるぞね!



ただし、天候によっては中止もあるき。

入れ物(クーラー)は、
かまえてきてよ!!

★海(御疊瀬)と山(土佐山)の コラボもやるでえ!

搦き立ての美味しい
おモチも売りゆうぞねっ。



主催:たるばあや^みつて御疊瀬^せん会

●ねえやん御疊瀬祭りに関するお問合わせ
電話:088-841-3211
高知県漁業協同組合御疊瀬支所
高知市御疊瀬482

●岡林信康コンサートに関するお問合わせ
電話:080-5663-8176
受付時間:平日9:00~17:00
たるばあやつて御疊瀬ん会



コンサート

岡林信康 2009

10月25日(日)

okabayashi nobuyasu

in 御豊瀬



入場料：3,500円

会場：御豊瀬小学校体育館

開場 16:00 開演 16:30～

●前売券取扱所：高新プレイガイド 088-825-4335
デュークショップ 088-825-2505

●岡林信康コンサートに関するお問合わせ
電話：080-5568-8176 受付時間：平日 9:00～17:00
たるばあやっぺ御豊瀬ん会
※未就学児の入場不可

同日開催「ねえやん御豊瀬祭り」

会場：高知県漁協御豊瀬支所 12:00～15:00

●ねえやん御豊瀬祭りに関するお問合わせ
電話：088-841-3211
高知県漁業協同組合御豊瀬支所
高知市御豊瀬 482

主催：たるばあやっぺ御豊瀬ん会 協賛：高知県漁業協同組合

後援：高知市・高知市教育委員会・高知県・高知新聞社・RKC高知放送・エフエム高知・KSSさんさんテレビ・KUTVテレビ高知・NHK高知放送局・高知ケーブルテレビ

岡林信康プロフィール



1946年7月22日、滋賀県近江八幡市に生まれる。(父はキリスト教会の牧師)同志社大学神学部在学中に東京・山谷ドヤ街で日雇い労働者生活を体験して大学をドロップアウト。その頃見た高石友也のフォークコンサートに感銘を受け、作詞・作曲活動を開始する。1968年「山谷ブルース」でレコードデビュー。“フォークの神様”と呼ばれて時代のカリスマ的アーティストとして君臨した。その後、ロックに転身、日本のボブディランと呼ばれる。1971年7月28日、日比谷野外音楽堂を一人で超満員にした「狂い咲きコンサート」では、それまでに発表した曲のすべてを順番に歌い、同年8月のフォークジャンボリーを最後に、人気絶頂の中、音楽シーンから姿を消し、隠棲生活に入る。京

都府下の山村生活は約5年に及んだ。その暮らしの中で、演歌に開眼、美空ひばりの「月の夜汽車」や五木ひろしの「北酒場」は岡林の作品。その後、ロンドンでキングクリムゾンのロバート・フリップの「日本人のロックを聴かせろ」という言葉に触発され、更に、韓国〈サムルノリ〉との出会いでリズムの力に衝撃を受け、日本の和のリズムに洋のメロディーをのせた〈エンヤトット〉ミュージックを創出する。2004年4月、アメリカ・シアトル市の「シアトル桜祭」に招かれて、ホールをはじめ病院、桜祭会場等で5日間で6度のライブを行う。2007年10月20日日比谷野外音楽堂での36年ぶりのコンサート「御歌囃子信康 狂い咲き2007」は、「観客の高齢化問題に対応した(岡林)」という2部構成。第1部は和太鼓・笛・尺八・三味線など日本伝統の和楽器を活かしたエンヤトットスタイル。第2部ではフォークギター2本だけで『チューリップのアップリケ』など往年のヒット曲を弾き語りで聴かせ、超満員(3,000人)の会場は熱い熱気と感動で観客総立ちのステージとなる。デビュー40周年にあたる2007年から2008年にかけては、各地でのコンサートの他、初めての絵本「僕の村は美しい国」(ランダムハウス講談社)も出版された。

